

講座「生きること」開催記録 1988年度～1997年度

開催年度	講師	テーマ
1988	中西 清太郎 (「廃墟の中から」の著者)	廃墟の中から ～わが水本村の闘い～
	金香都子(大阪市立天王寺中学校夜間学級講師)	猪飼野路地裏通りゃんせ
	五十嵐 照美(日本キリスト教部落解放センター職員)	私と部落解放
	むの たけし(著述業「たいまつ」新聞主宰)	生きることを問い直す ～昭和史への証言～
	吉田 ルイ子 (フォトジャーナリスト)	見つめられる日本 ～第3世界と私たち～
1989	金 満 里 (劇団「態変」主宰)	私のおるところから見えてくるもの
	萩原 葉子 (作家)	人生はいつも今のなかに
	大島 静子(女性の家「HELP」前ディレクター)	「アジア出稼ぎ女性」は問いかける ～HELP から見た日本～
	吉田 小百合 (松原教育を守る会)	「更池に生きて」 ～差別によって奪われた子育てをとり戻す～
	島 成郎 (精神科医)	心病みながら生きること
1990	阪本 秀夫 (日本教育法学会理事)	子どもの権利条約と校則
	新正 卓 (写真家)	中国残留孤児を撮りつづけて
	あんばいこう (「無明舎出版」経営)	「地方」の視線
	洪 貞 子 (宇治ウトロ住人)	私とウトロとの出会い ～生きていかななくては～
	磯本 恒信 (長崎大学講師)	長崎に生きて ～被爆と差別のはざままで～
1991	土本 典昭 (記録映画作家)	記録映画はひとびとの合作である
	みなみあめん坊(「月夜のムラで星を見た」著者)	差別社会を“ムラ”から見れば
	中嶋 昌一郎 (「浪花の板前国賊噺」著者)	はぐれ板前、国賊となる
	岸 キヌエ(部落解放同盟日之出支部婦人部長)	みやらけの子もり唄 ～私の生きてきた道～
	チカッブ美恵子 (アイヌ文様刺繍家)	多民族社会は可能か?
1992	上田 音市(全国隣保館連絡協議会名誉会長)	私の解放運動 ～その七〇年～
	金城 実(彫刻家) 玉城 利則(沖縄三線奏者)	復帰二〇年 ～沖縄を語る～
	池田 千鶴子(放浪の吟遊詩人)	命を見つめ 命を奏でる
1992	ギリヤーク尼ヶ崎 (大道芸人)	街角に踊るじょんがら一代
	坂岡 嘉代子 (はぐるまの家代表)	はぐるま太鼓 輝かそう子供たち ～ありのままの大人から～
	《国際先住民族年記念講演》 床 スブリ(彫刻家)	私の出会った人々

開催年度	講師	テーマ
1993	辻野 ナオミ (ネグロス教育里親運動会長)	近所の国から見た日本
	松本 剛 (弁護士)	HIV(エイズ)と共に ～生きる社会をめざして
	武富 富巳男 (「兵士・庶民の戦争資料館」主宰)	“苔むす友を忘れまじ” 彼我多くの犠牲の上に今日がある
	斎藤 洋一(財信州農村開発史 研究所研究員)	部落の歴史をとりもどす闘いのなかで
	もろさわ ようこ(女性史研究家)	愛にみちて歴史を拓き ～心華やぐ自立を生きる
1994	木村 美代志(財大阪府同和事業 促進協議会理事)	差別の中を生きぬいて
	梁 石 日 (作家)	持続する意思
	八ツ塚 実 (尾道短期大学非常勤講師)	私の「人間科」授業 ～いのちの灯をかざして～
	谷口 明広(障害者自立生活 問題研究所所長)	夢を抱き、夢をかなえる ～障害と楽しく生きる～
	山田 薫 (星ヶ丘厚生年金病院医師)	障害者の排尿障害治療にかかわって
1995	吉田 正行(神戸市身体障害者福 祉相談員・前神戸市難聴者協会会長)	盲ろう者の声 ～ボランティアって何だろう～
	牧田 清 (フォトジャーナリスト)	写真をとおして出会った人々
	坂本 信一(ある地方自治体の清 掃現場員「ゴミにまみれて」著者)	ゴミにまみれて
	林 力 (九州産業大学経済学部教授)	学ばされ、生かされて
	桑原 忠史 (徳島県同和問題啓発専門委員)	自分らしく学ぶということについて
1996	花井 十伍 (大阪 HIV 訴訟原告団理事)	HIV「死の恐怖を越えて 普通に生きたい」
	鄭 承 博 (作家「裸の捕虜」の著者)	私の生きてきた道筋
	池田 栄子 (尼崎市社会同和指導員)	寄り道 まわり道 共に生きるために
	大井 益二 (技術コンサルタント)	見えなくても 明日にむかって
	バルゴ・マイラ(在日フィリピン女性) 園崎寿子(英・タガログ語通訳翻訳家)	フィリピン女性とその子 「日本に生きる」
1997	バイマーヤンジン (声楽家・チベット出身)	遠くチベットから 日本で暮らして
	和田 武広(「はじけた家族－ 手記・結婚差別」の著者)	二度とない人生だから
	村上 初一 (前大久野島毒ガス資料館館長)	伝えておきたいこと
	今野 紀世子(大阪国際平和センター運 営委員・大阪大空襲の体験を語る会代表)	大阪大空襲の生存者として 戦争の恐怖を語る
	金 時 鐘(詩人・エッセイスト)	私の日本語 ～私の「日本」